

第1章 飯能市の概況

第 1 章 飯能市の概況

1 都市の現況

(1) 位置・沿革

1) 位置

本市は、都心から約 50km の埼玉県南西部に位置し、行政区域面積は 19,305ha、市域の約 76%が山林で県立奥武蔵自然公園の中核をなしており、首都圏の身近な観光レクリエーションの場となっています。

広域的には J R 八高線、一般国道 16 号の西側に沿って秩父山地から多摩丘陵、丹沢山地にかけて南北に伸びる丘陵地にあたり、秩父山地、加治丘陵、入間台地という多様な地形条件から豊かな自然環境に恵まれ、山地部の河川沿いは緑と清流の景観を生み出しています。

西部の山地部では高麗川、入間川、成木川などの河川が谷幅の広い形状を形成し、河川沿いは河岸段丘が発達しています。

山地部東側に続く丘陵は、北に高麗丘陵、南に加治丘陵があり、この丘陵地を縫って高麗川や入間川などが南東方向に流下しています。

平野部は、市東部の入間台地を中心に広がり、市街地や農地を形成しています。

2) 沿革

飯能地方は、江戸時代には幕府の直轄領となり、新田の開発、耕地の開拓が盛んに行われる一方、江戸に交通至便なため、河川を利用して運ばれた木材は「西川材」と呼ばれて高く評価され、現在の林業、製材業の基礎となりました。

大正 4 年(1915 年)の武蔵野鉄道(現西武鉄道)開通、昭和 6 年(1931 年)の国鉄(現 J R)八高線開通に伴い、周辺地域の商工業の中心都市として発展をとげました。

昭和 18 年(1943 年)に飯能町、加治村、精明村、南高麗村、元加治村の 1 町 4 村が合併、昭和 29 年(1954 年)に市制を施行し、昭和 31 年(1956 年)に吾野村、東吾野村、原市場村の 3 村、平成 17 年(2005 年)には名栗村と合併し、現在に至っています。

市域のほとんどが奥武蔵自然公園に指定されている本市は、平成 17 年(2005 年)4 月に「森林文化都市」を宣言し、人と森林との日常的・多面的な関わりを通して、自然と都市機能の調和したうるおい豊かなまちの創造を目指して取り組んでいます。

近年では、地域住民が主体となったイベント・交流事業やエコツーリズムが進展するとともに、新図書館などの地域基盤の整備が進んでいます。また、宮沢湖畔に建設される「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖 メッツァ」の開業により、観光・経済・産業において好影響が期待されます。

森林文化都市宣言

飯能市は、首都圏にあって奥武蔵の豊かな自然に恵まれたまちであり、その歴史・文化、人々の情感は、森林とともに育まれてきました。

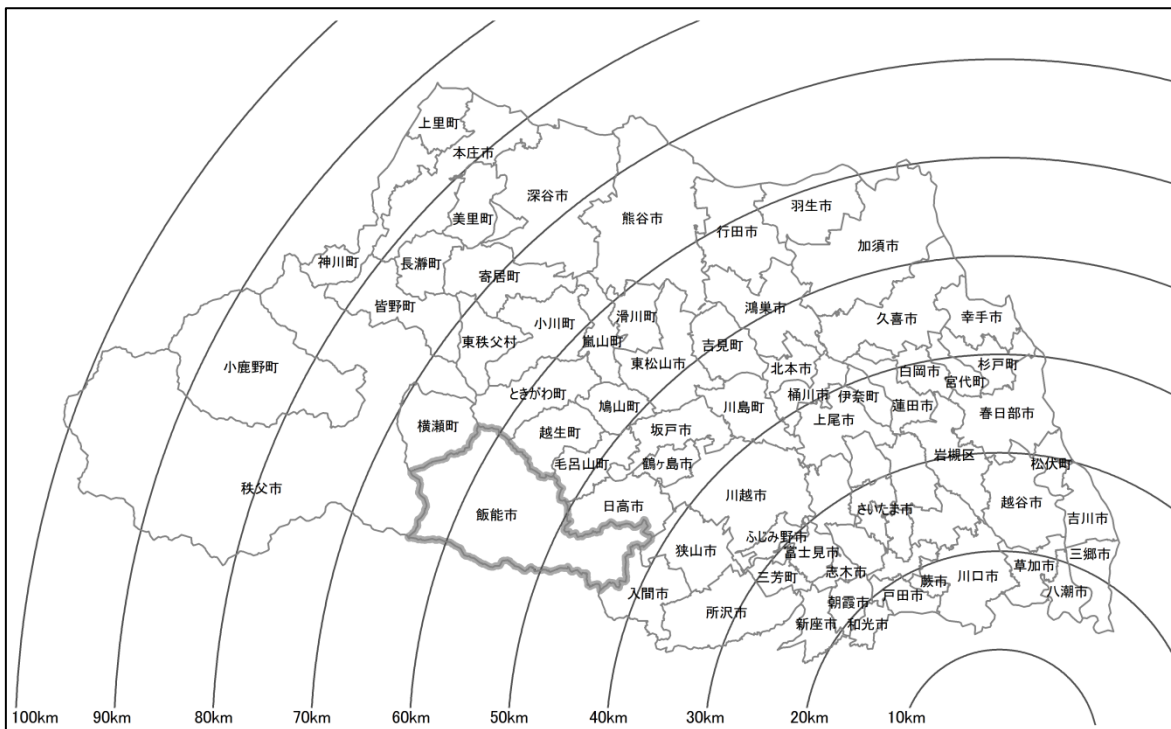
人々が森林とのふれあいを通じて心身ともに森林の恵みを楽しみ、環境との調和や資源の循環利用を生活の中で生かしていくことが求められる時代において、本市では、森林資源を活用し、新たな森林文化の創造により、心豊かな人づくりと、活力のあるまちづくりを推進します。

ここに森林と人とのより豊かな関係を築きつつ、自然と都市機能とが調和するまちの創造をめざし、「森林文化都市」を宣言します。

平成17年4月1日



■位置図



■地区区分図



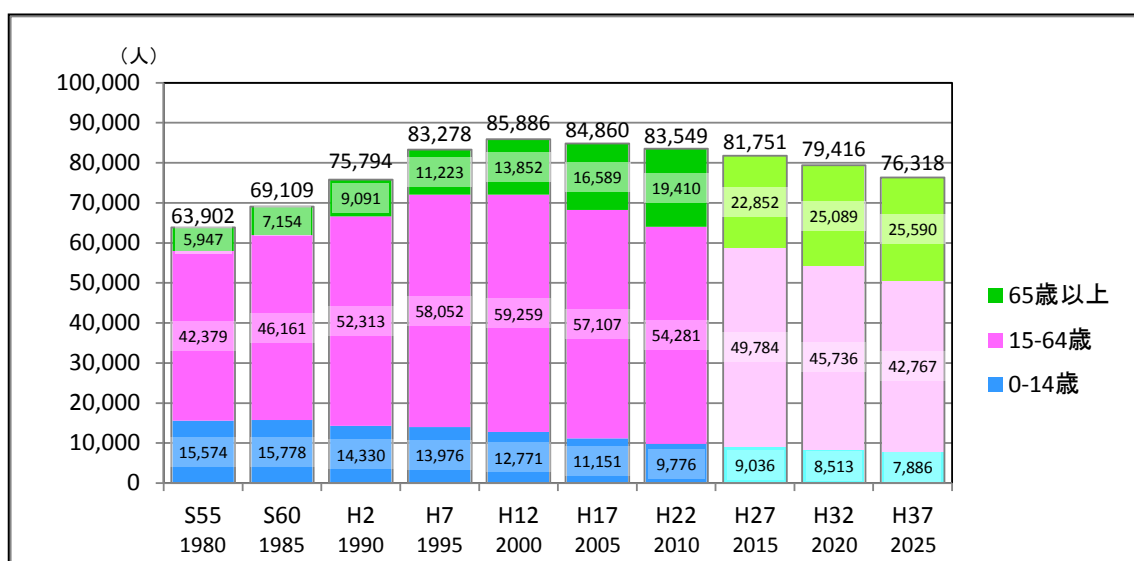
(2) 人口・世帯等

1) 人口

本市の人口は、平成12年(2000年)の85,886人(旧名栗村人口含む)をピークとして全国的な少子高齢・人口減少の進行を背景に減少傾向にあり、本計画の中間年度である平成37年(2025年)には約76,000人にまで減少すると推計されます。

高齢者数は、昭和55年(1980年)と平成37年(2025年)推計値の比較では、5,947人から25,590人と大幅な増加が予測されます。

■人口と年齢構成の推移と推計



(平成22年国勢調査)

※平成27年以降の薄色部分は推計値

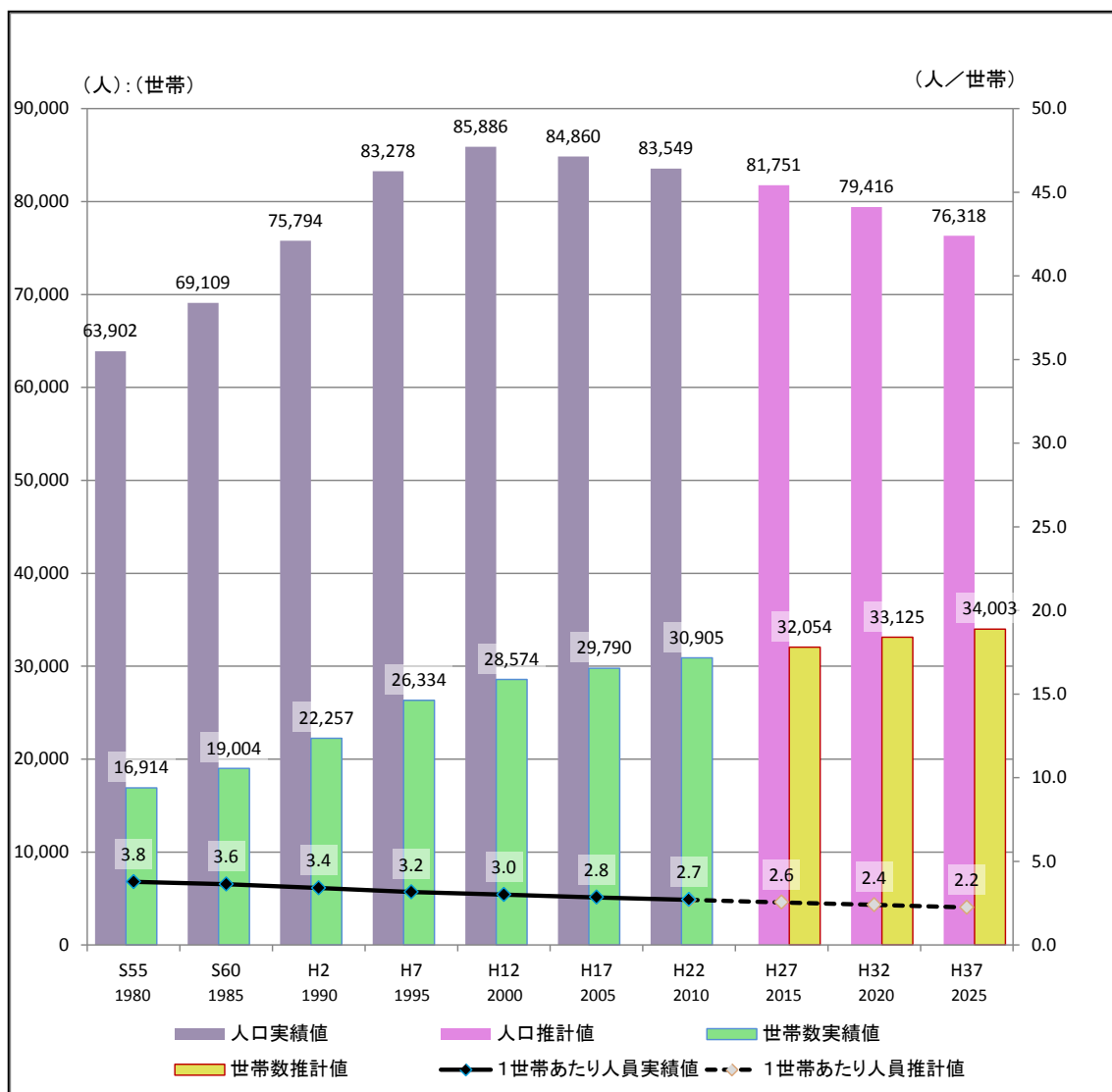
※各年代の人口の合計には年齢不詳分を含まないため、総人口とは一致しない。

2) 世帯

本市の世帯数は、平成 22 年(2010 年)の世帯数は 30,905 世帯で、1 世帯当たり人員は 2.7 人です。昭和 55 年(1980 年)以降、世帯数は増加していますが、1 世帯当たり人員は減少しています。

この傾向が続くと本計画の中間年度の平成 37 年(2025 年)では、世帯数は 34,003 世帯、1 世帯当たり人員は 2.2 人になると予測されます。

■世帯数と世帯当たり人口の推移と推計



(平成 22 年国勢調査)

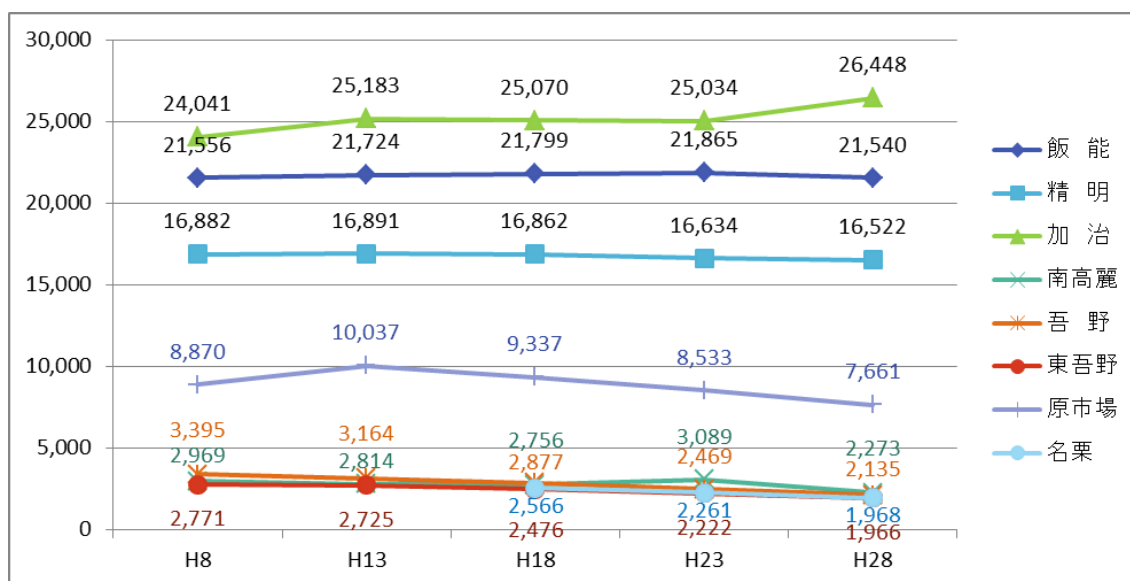
※平成 27 年以降は平成 7 年～平成 22 年の世帯当たり人口の平均増減数から推計

3) 地区別人口・世帯

平成 28 年(2016 年)の地区別人口は、飯能地区が 21,540 人(総人口の 26.8%)、精明地区が 16,522 人(同 20.5%)、加治地区が 26,448 人(同 32.8%)と、市街化区域を含む 3 地区で全体の人口の約 8 割を占めています。

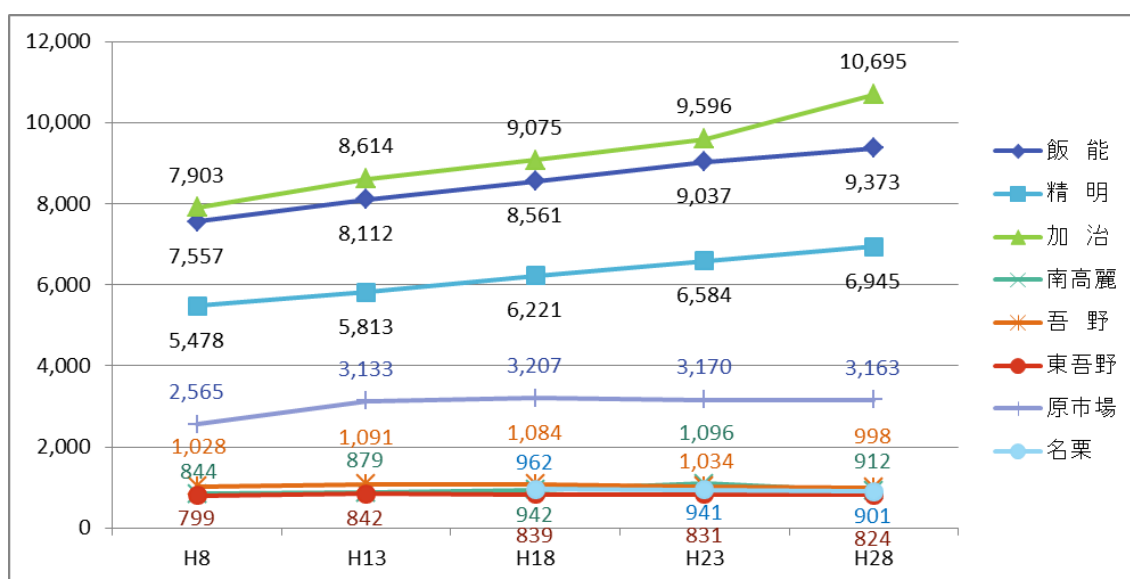
地区別人口の推移を見ると、加治地区ではゆるやかな増加、飯能地区、精明地区は横ばいとなっているのに対し、山間地域の南高麗、吾野、東吾野、原市場及び名栗地区は減少傾向が続いています。

■地区別人口推移



(住民基本台帳 各年 1 月 1 日現在)

■地区別世帯数推移

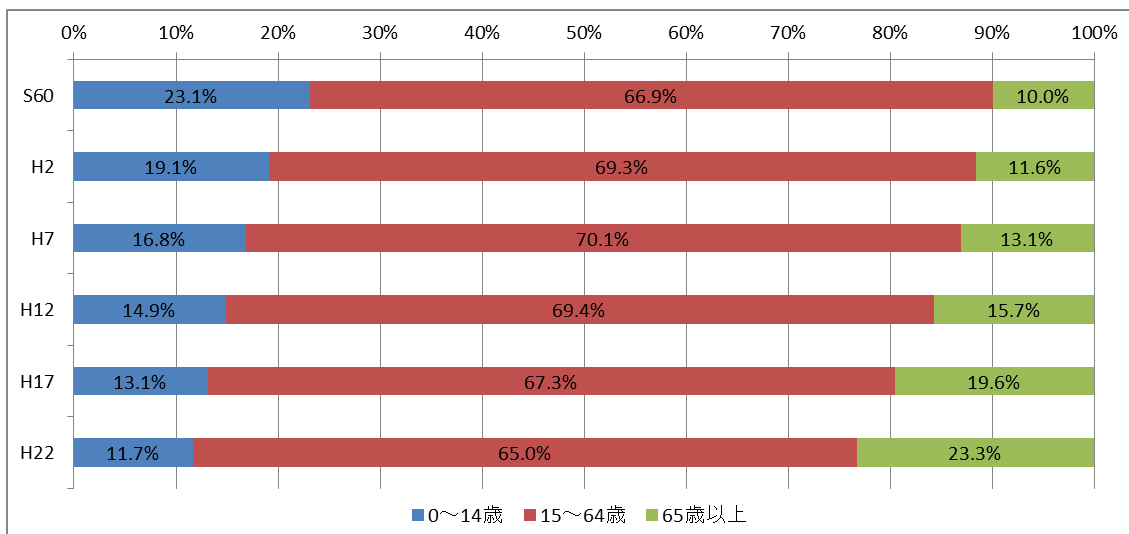


(住民基本台帳 各年 1 月 1 日現在)

4) 年齢別人口

本市の年齢別人口構成をみると、年少人口（0～14歳）割合は昭和60年（1985年）以降減少しており、平成22年（2010年）で11.7%となっています。

生産年齢人口（15～64歳）割合は、平成7年（1995年）をピークに減少に転じ、平成22年（2010年）で65.0%、老年人口（65歳以上）割合は昭和60年（1985年）以降増加傾向を示し、平成22年（2010年）で23.3%となり、平成12年（2000年）以降、老年人口が年少人口を上回っています。



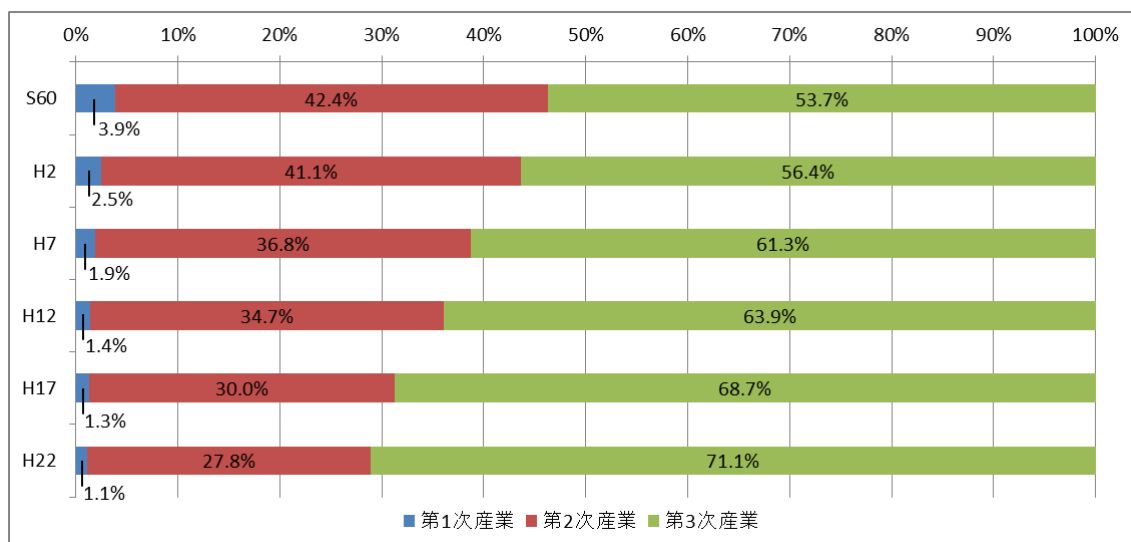
(国勢調査、昭和60年～平成12年は旧市村合計値)



5) 産業別就業人口

本市の産業別就業人口構成をみると、第1次産業人口割合は昭和60年(1985年)以降減少しており、平成22年(2010年)で1.1%となっています。第2次産業人口割合も、昭和60年(1985年)以降減少しており、平成22年(2010年)で27.8%となっています。

第3次産業就業人口割合は、昭和60年(1985年)以降増加傾向を示し、平成22年(2010年)で71.1%となっています。



(国勢調査、昭和60年～平成12年は旧市村合計値)



(3) 土地利用

1) 土地利用現況

本市の市街地は、市東部の台地及び丘陵地に形成されており、集落地が入間川、高麗川などに沿って整備された幹線道路沿いに広がっています。

土地利用現況から分類すると、市街化区域には市街地ゾーン、駅周辺の中心市街地ゾーンが広がり、市街化調整区域には農業ゾーン、丘陵ゾーンが広がります。都市計画区域外には、国道・県道などの沿道に集落地が広がる山間沿道エリア、山村集落や森林地域からなる森林ゾーンに大別されます。

2) 都市計画区域等指定状況

①都市計画区域

飯能地区、精明地区、加治地区、南高麗地区の全域 5,014.0ha が指定されています。

■都市計画区域現況

(ha)

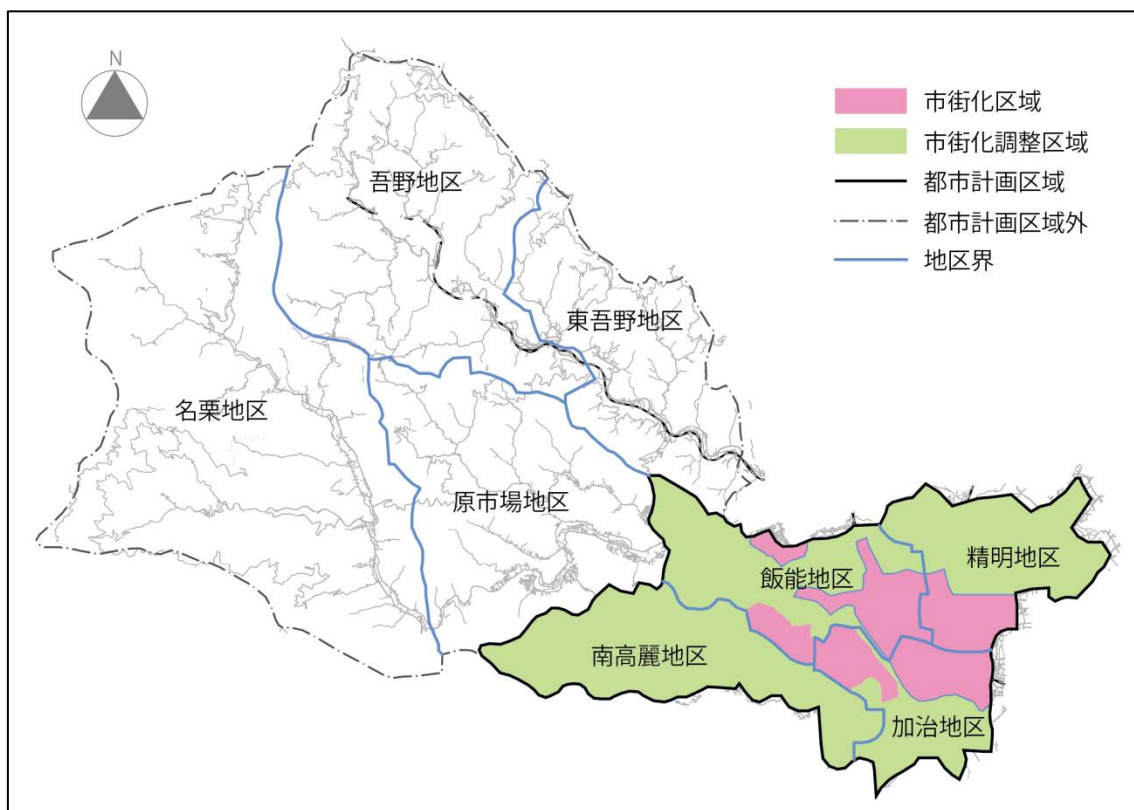
	都市計画区域		都市計画区域外区域	行政区域
	市街化区域	市街化調整区域		
面積	5,014.0	1,144.0	14,304.0	19,318.0
比率	26.0%	5.9%	74.0%	100.0%

平成 28 年 4 月 1 日現在
* 計測方法の変更により市の面積が 19,305ha に変わりましたが、都市計画変更がされていないため、区域区分は従来の面積とします。

②市街化区域

飯能地区、精明地区、加治地区の内、1,144.0ha が市街化区域に指定され、市街化区域内は用途地域が指定されています。

■都市計画区域区分図

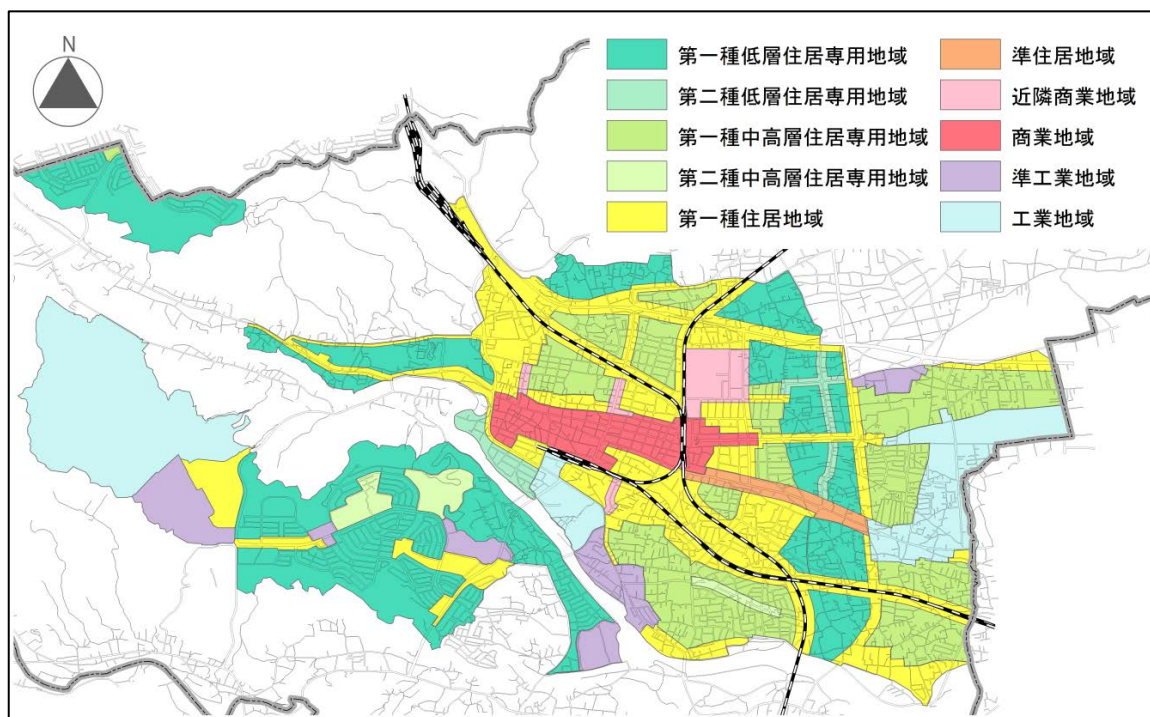


■用途地域現況

用途地域	第一種低層住居専用地域	第二種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	合計
面積 (ha)	316.7	8.4	210.6	11.9	279.7	14.9	12.9	4.6	51.1	57.5	175.7	1,144.0
比率 (%)	27.7	0.7	18.4	1.0	24.5	1.3	1.1	0.4	4.5	5.0	15.4	100.0

平成 28 年 4 月 1 日現在

■用途地域指定状況図



③地区計画

地区の特性にふさわしい良好な市街地の整備及び保全を図るため、飯能美杉台地区約 153.8ha、飯能永田台地区約 46.0ha、飯能双柳北部地区約 13.5ha、岩沢北部地区約 44.2ha、岩沢南部地区約 55.4ha、飯能征矢町地区約 11.4ha、飯能茜台地区約 137.7ha が指定されています。

(4) 市街地整備

1) 市街地開発事業

本市の市街地整備は、昭和31年(1956年)、市街地開発事業として土地区画整理事業に着手し、11地区549.8haの内、7地区370.4haが完了し、4地区179.4haが施行中です。

中心市街地東側で施行中の事業(市施行)は、主として住環境整備を目的に実施してきましたが、長期化が見込まれる地区において、一部事業の見直しを実施しました。

■市街地開発事業

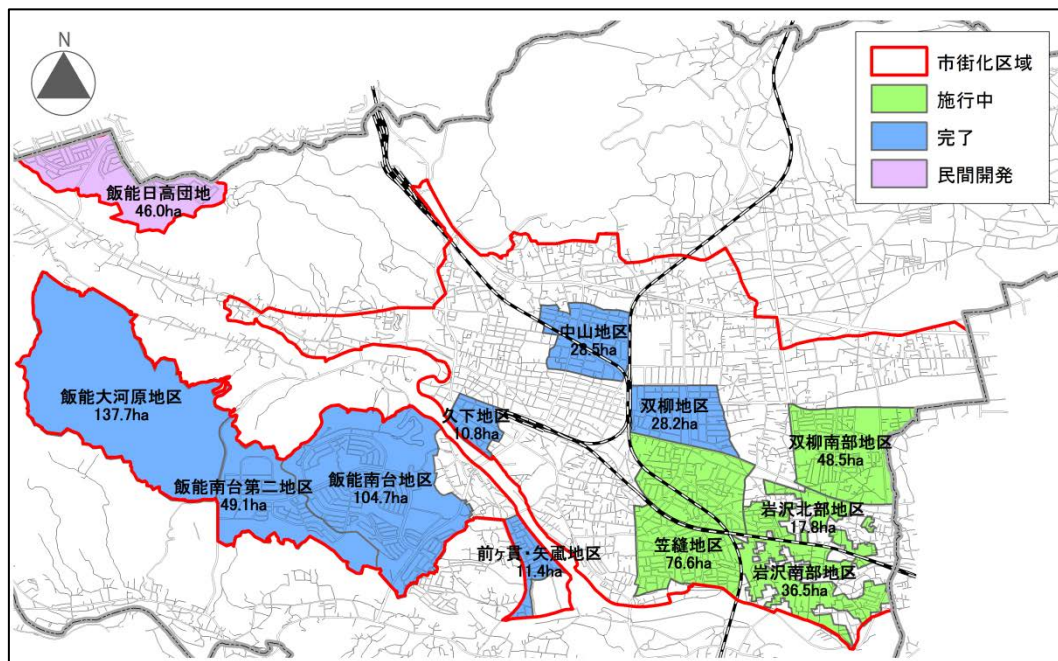
名称	事業主体	面積 (ha)	整備状況	事業期間 (年度)
久下土地区画整理事業	組合	10.8	完了	S31～S57
中山土地区画整理事業	市	28.5	完了	S38～S47
双柳土地区画整理事業	市	28.2	完了	S41～S53
飯能南台特定土地区画整理事業	都市再生機構	104.7	完了	S56～H5
前ヶ貫・矢嵐土地区画整理事業	市	11.4	完了	H5～H17
飯能南台第二土地区画整理事業	都市再生機構	49.1	完了	H8～H22
飯能大河原土地区画整理事業	都市再生機構	137.7	完了	H4～H25
笠縫土地区画整理事業	市	76.6	施行中	S62～H36
双柳南部土地区画整理事業	市	48.5	施行中	H4～H33
岩沢北部土地区画整理事業	市	17.8	施行中	H6～H40
岩沢南部土地区画整理事業	市	36.5	施行中	H7～H40

平成28年4月1日現在

2) 民間開発

民間による大規模住宅地開発として、隣接する日高市にまたがる飯能日高団地46.0haが整備中です。

■市街地開発事業等位置図



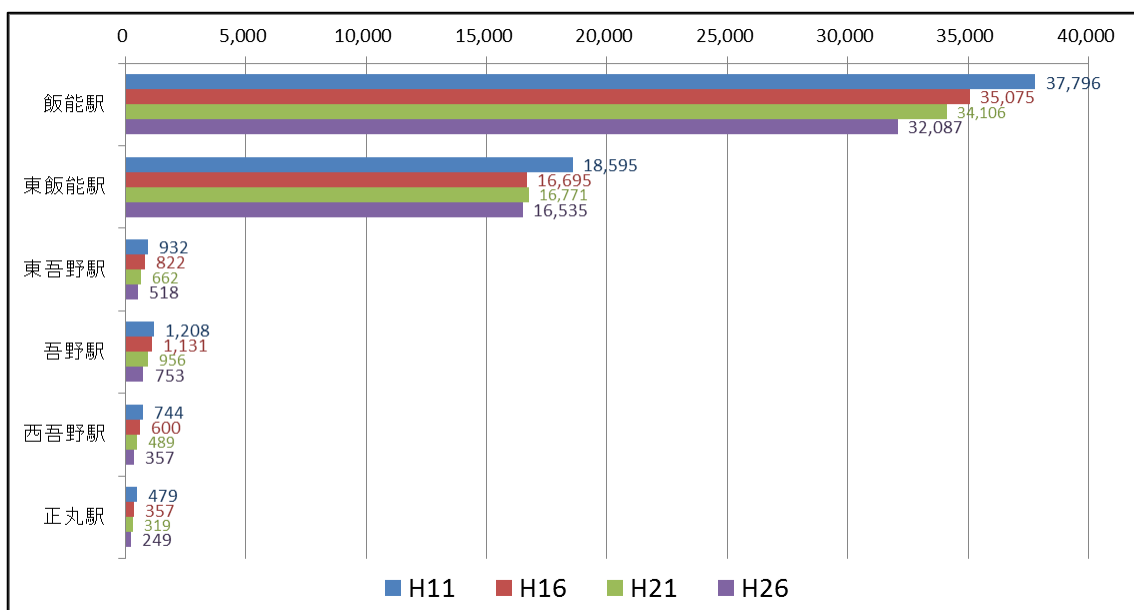
(5) 都市施設等

1) 公共交通

① 鉄道

鉄道は、JR八高線（東飯能駅）、西武線（飯能駅・東飯能駅・東吾野駅・吾野駅・西吾野駅・正丸駅）がありますが、乗降客数は全ての駅で減少傾向となっています。

■ 駅乗降客数推移



(統計はんのう)



②バス

バスは、飯能駅を中心として各方面に路線バスが運行していますが、利用者の減少により運行本数が削減され、地域住民の交通手段の確保が求められています。

■交通体系図



2) 道路

①主要道路

市内には、主要幹線道路として、市域を東西に走る一般国道 299 号、主要地方道飯能下名栗線、南北に走る主要地方道飯能寄居線、主要地方道青梅飯能線、主要地方道青梅秩父線などがあります。また、狭山市との隣接地には、一般県道馬引沢飯能線に接続する圏央道狭山日高インターチェンジがあります。

②都市計画道路

都市計画道路は、25 路線 34.30km が計画決定されていますが、整備状況は約 23.21km、整備率約 67.67%となり、既成市街地内の計画道路の整備が遅れています。(平成 28 年 4 月 1 日時点)

③駅前交通広場

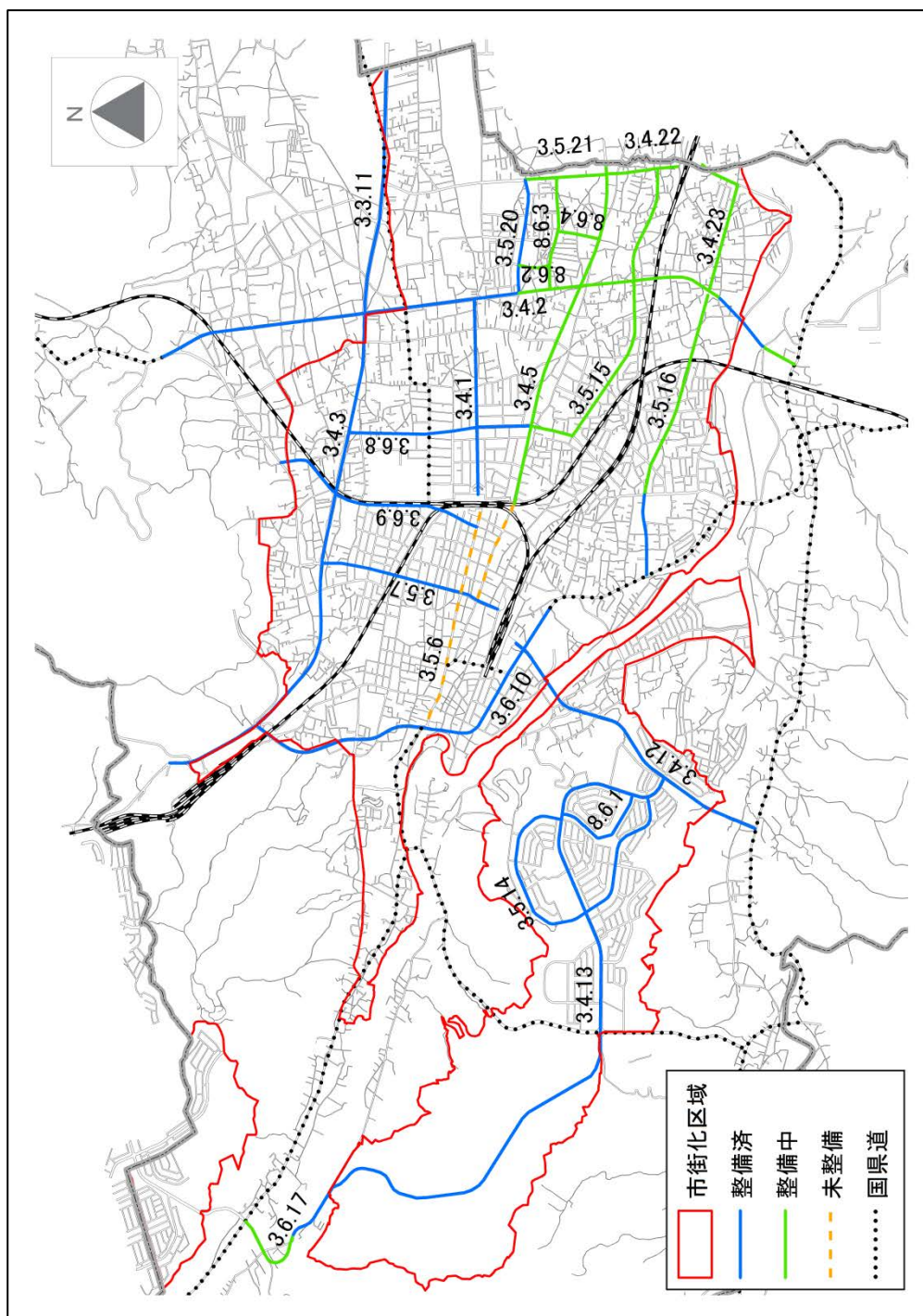
駅前交通広場として、東飯能駅東口・東飯能駅西口・飯能駅北口・飯能駅南口が整備済、元加治駅北口・元加治駅南口は未整備となっています。(平成 28 年 4 月 1 日時点)

■都市計画道路整備状況

路線番号	名称	計 画		整備済(m)	未整備(m)	備 考
		幅員(m)	延長(m)			
3・4・1	東飯能駅東口駅前通り線	18	930	930		整備済
3・4・2	阿須小久保線	16~18	4,080	2,640	1,440	整備中
3・4・3	青木大久田線	16	2,800	2,800		整備済
3・4・5	久下六道線	16	2,330		2,330	整備中
3・5・6	中央通り岩根橋線	15	1,130		1,130	未整備
3・5・7	飯能駅前通り線	11~15	1,140	1,140		整備済
3・6・8	双柳中居線	11~16	1,130	1,130		〃
3・6・9	前田通り中居線	11	1,300	1,300		〃
3・6・10	川寺上野線	11~16	2,220	2,220		〃
3・3・11	飯能所沢線	23.5	1,230	1,230		〃
3・4・12	飯能駅南口駅前通り線	16	1,810	1,810		〃
3・4・13	飯能南台大河原線	16~18	3,370	3,370		〃
3・5・14	飯能南台環状線	12	1,820	1,820		整備済
3・5・15	双柳岩沢線	12	1,760		1,760	整備中
3・5・16	川寺岩沢線	12	1,510	400	1,110	〃
3・6・17	大河原永田線	10	1,540	1,000	540	〃
3・4・19	狭山飯能線	16	370	300	70	一部整備済
3・5・20	東原巽原線	12	550	550		整備済
3・5・21	巽原滝ノ上線	12	490		490	整備中
3・4・22	元加治駅北口駅前通り線	16	420		420	〃
3・4・23	元加治駅南口駅前通り線	16	820		820	〃
8・6・1	飯能南台歩行者専用1号線	10	570	570		整備済
8・6・2	東原六道線	9	180		180	整備中
8・6・3	六道巽原線	9	560		560	〃
8・6・4	巽原清水ノ上線	9	240		240	〃
計25路線			34,300	23,210	11,090	

(平成 28 年 4 月 1 日時点)

■主な都市計画道路図



■駅前交通広場

名称	面積(m ²)	整備済(m ²)	未整備(m ²)	備考
東飯能駅東口	4,000	4,000	—	都市計画決定
東飯能駅西口	2,600	2,600	—	市施行
飯能駅北口	4,156	4,156	—	鉄道事業者施行
飯能駅南口	4,500	4,500	—	都市計画決定
元加治駅北口	2,500	—	2,500	都市計画決定
元加治駅南口	1,500	—	1,500	都市計画決定

平成 28 年 4 月 1 日現在

3) 公園緑地

本市の都市公園及び緑地は、街区公園 24 ヶ所、近隣公園 3 ヶ所、地区公園 2 ヶ所、運動公園 1 ヶ所、都市緑地 17 ヶ所、緑道 4 ヶ所、合計 51 ヶ所 119.02ha が整備されています。(平成 28 年 4 月 1 日時点)

■都市公園整備状況

公園名	種別	計画決定	面積(ha)	開設年月日	
前田公園	街区公園	S41.6.17	0.35	S45.3.31	
玉宝公園		S45.3.16	0.22	〃	
柿堂公園		〃	0.31	S46.7.14	
上ノ台公園		〃	0.23	S47.4.1	
橋場公園		〃	0.24	S49.4.3	
水押公園		〃	0.30	〃	
中央公園	近隣公園	S61.6.3	2.71	H12.4.1	
美杉台公園	地区公園	H27.3.1	7.71	H14.1	
阿須運動公園	運動公園	H8.2.23	18.62	S58.4.1	
あけぼの子ども森公園	地区公園	H6.6.17	7.57	H9.7.1	
岩沢運動公園	都市緑地	H8.2.27	3.73	H10.4.1	
あさひ山展望公園	近隣公園	H20.7.17	3.60	H23.4.8	
龍崖山公園	近隣公園	—	3.83	H25.3.24	
久下地藏公園	街区公園	—	0.04	S62.4.1	
中山遊戯公園		—	0.03	〃	
見晴らし公園		—	0.49	H14.1	
ひかり公園		—	0.24	〃	
稲荷町公園		—	0.08	H23.3.1	
もみじ公園		—	0.28	H4.4.1	
こぶし公園		—	0.26	H7.4.1	
永田台中央公園		—	0.73	H9.4.1	
なかよし公園		—	0.05	〃	
ふれあい公園		—	0.20	H11.4.1	
いちご公園		—	0.23	H18.3.1	
おひさま公園		—	0.12	H18.3.1	
ひだまり公園		—	0.25	H20.1.10	
ゆうひ山公園		—	1.15	H20.1.10	
加能里遺跡公園		—	0.26	H22.2.14	
あじさい公園		—	0.25	H23.3.26	
あかね公園		—	0.31	H25.3.24	
柳原公園		—	0.21	H27.3.14	
ひかり橋緑地		都市緑地	—	0.94	H14.4.1
美杉台緑地			—	11.28	〃
夕日之沢緑地			—	2.51	〃
前原沢緑地			—	0.48	〃
西八ツ川1号緑地			—	0.90	〃
西八ツ川2号緑地			—	2.15	H21.7.15
西八ツ川3号緑地	—		3.43	H23.4.1	
あさひ山1号緑地	—		1.07	〃	
あさひ山2号緑地	—		2.59	〃	
釜下沢緑地	—		4.37	〃	
龍崖山緑地	—		20.22	H25.3.24	
茜台緑地	—		12.01	〃	
駒坂緑地	—		1.96	〃	
カモシカ1号緑地	—		0.05	〃	
カモシカ2号緑地	—		0.03	〃	
カモシカ3号緑地	—		0.01	〃	
つくしのひろば	緑道		—	0.11	H14.4.1
しみずのひろば		—	0.11	〃	
いしのひろば		—	0.09	〃	
こびきのひろば		—	0.11	〃	
計			119.02		

(平成 28 年 4 月 1 日時点)

4) 上下水道

①上水道

上水道の普及率は、98.8%（平成27年度）となっていますが、山間部で未給水地域があり、対策が必要です。

■上水道概要

行政人口	給水戸数	給水人口	給水量	普及率
80,364人	35,426戸	79,414人	10,183千m ³	98.8%

※行政人口は総人口による

平成27年度末

②下水道

下水道は、公共下水道で処理する区域と個別に処理する区域に分けて整備を進めています。公共下水道の普及率は67.1%となっていますが、公共下水道処理区域外では合併処理浄化槽の設置を推進しています。

■公共下水道概要

行政人口	処理区域面積	処理人口	水洗化人口	普及率
80,364人	1026.9ha	53,912人	51,625人	67.1%

※原市場特定環境保全公共下水道分を含む。行政人口は総人口による

平成27年度末

5) 公共公益施設

市役所や国・県関連施設の主要な行政施設は、市街地東部の双柳地区に立地し、市民会館、郷土館、市立図書館などの主要な文化施設は、市街地西部に立地しています。

教育施設は、公立小学校14校、公立中学校8校、私立中学校2校、公立高校2校、私立高校3校、大学1校、専修学校3校があります。

医療・福祉施設は、総合福祉センター、保健センターをはじめ、市内各所に保育所などがあり、スポーツ施設は、阿須運動公園や市民球場、市民体育館などがあります。

■地区別公共公益施設・地域資源等一覧

	行政施設等	教育施設	医療・福祉施設等	自然・地域資源/歴史・文化遺産等	
飯能	飯能中央地区行政センター 第二区地区行政センター 市立図書館 こども図書館 市民会館 飯能日高消防署稻荷分署 郷土館 子育て総合センター 店蔵絹甚	飯能幼稚園 さゆり幼稚園 大東幼稚園 飯能第一小学校 飯能第二小学校 飯能西中学校 聖望学園中学校 自由の森学園中学校 飯能高等学校 聖望学園高等学校 自由の森学園高等学校 大川学園高等学校	山手保育所 第二区保育所 飯能元氣保育園 シルバー人材センター	入間川 飯能河原 天覧山 多峯主山 吾妻峡 市民プール 飯能市観光案内所	能仁寺 智観寺 飯能織物協同組合
精明	市役所 富士見地区行政センター 精明地区行政センター 双柳地区行政センター 飯能日高消防署 飯能警察署 勤労青少年ホーム	わかば幼稚園 双柳小学校 精明小学校 富士見小学校 飯能第一中学校 大川学園医療福祉専門学校 大川学園高等専修学校 飯能看護専門学校	総合福祉センター 保健センター 富士見保育所 浅間保育所 すぎのこ保育園 つばみ園 老人ホーム敬愛園 ぼかぼか保育園 おぶすま福祉会飯能事業所 おぶすま福祉会飯能ケアホーム あおーら地域活動センター希望 シザースクリークチャイルドケア(本園)	宮沢湖 南小畔川 鯉ヶ久保池 宮沢湖温泉 「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖メツツア」	円泉寺 赤城神社 浅間塚
加治	加治地区行政センター 加治東地区行政センター 美杉台地区行政センター 美杉台児童館	加治幼稚園 白鳥幼稚園 加治小学校 加治東小学校 美杉台小学校 加治中学校 美杉台中学校 飯能南高等学校 駿河台大学	加治保育所 加治東保育所 美杉台保育所 白鳥保育園 阿須フレンドワーク シザースクリークチャイルドケア(分室)	入間川 成木川 阿須運動公園 市民体育館 市民球場 あけぼの子ども の森公園 美杉台公園 林業センター	見光寺 浄心寺 神明神社(大ケヤキ) 西光寺
南高麗	南高麗地区行政センター	南高麗小学校 南高麗中学校	南高麗診療所 南高麗福祉センター	成木川 直竹川 赤根ヶ峠 カタクリ群生地 モリアオガエル 生息地	長光寺 富士浅間神社 石炭焼場跡
吾野	吾野地区行政センター 飯能日高消防署吾野分署	吾野小学校		高麗川 伊豆ヶ岳 正丸峠 苅場坂峠 東郷公園 休暇村奥武蔵	高山不動尊 不動堂 子ノ権現 旧吾野宿 旧南川小学校 旧北川小学校 旧高山小学校
東吾野	東吾野地区行政センター	東吾野小学校 西川小学校 吾野中学校	東吾野医療介護センター 吾野保育所	高麗川 顔振峠 ふれあい農園 木工工房 ユガテ	福德寺 長念寺 諏訪神社
原市場	原市場地区行政センター	原市場小学校 原市場中学校	原市場福祉センター 原市場保育所	入間川 中藤川 原市場の森	竹寺 白髭神社 金錫寺
名栗	名栗地区行政センター 飯能日高消防署名栗分署 名栗スポーツ広場 農林産物加工直売所 あすなろ会館 ふるさと会館	名栗幼稚園 名栗小学校 名栗中学校	保健センター名栗分室 名栗診療所	入間川 名栗湖 棒ノ嶺 蔵山 正丸峠 有間溪谷 有間溪谷観光釣場 名栗温泉 カヌー工房 名栗げんきプラザ さわらびの湯 農林産物加工直売所 名栗湖直売所	下名栗諏訪神社 星宮神社 鳥居観音 名栗川橋 旧名栗郵便局

2 市民等意識

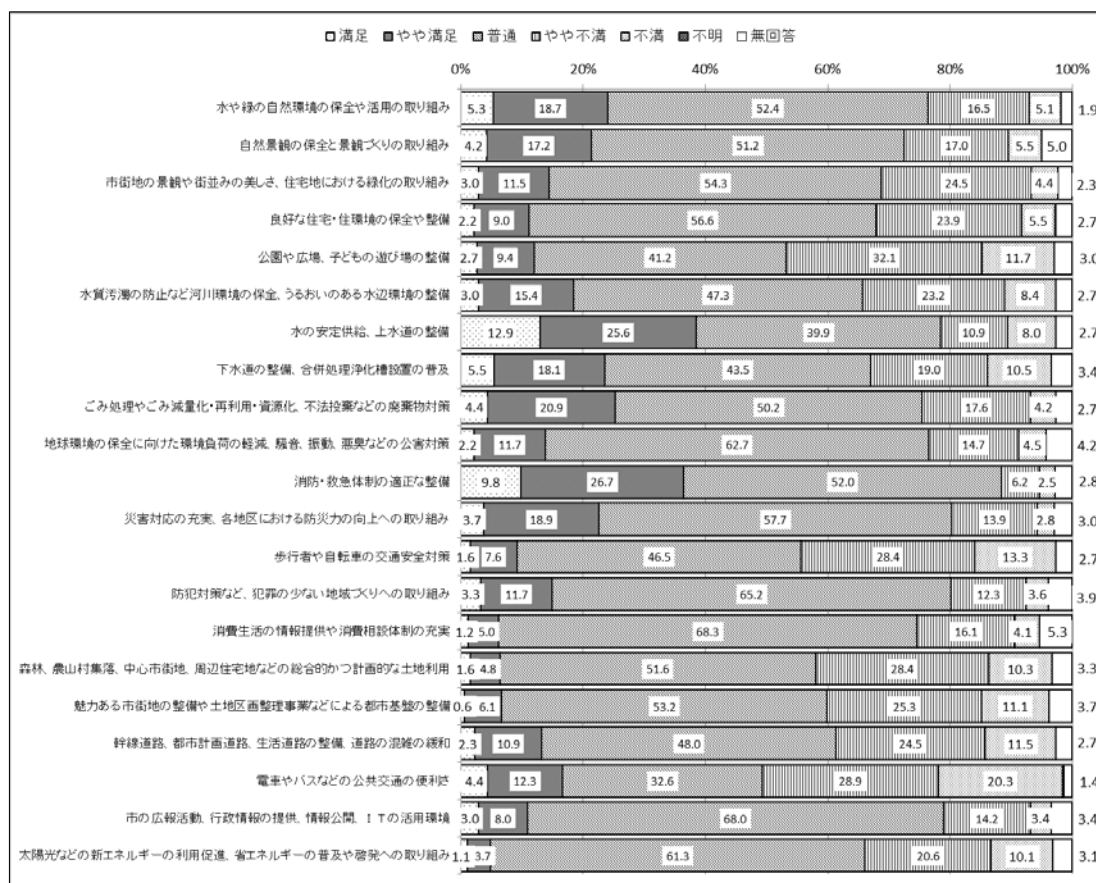
飯能市都市計画マスタープランは、第5次飯能市総合振興計画策定時に実施した市民意識調査を参考に、まちづくり、地域づくりにおける課題、方向性などについて幅広い意見を反映しています。

(1) 飯能市市民意識調査結果

1) 「豊かな自然と共生する環境にやさしいまち」

①満足度

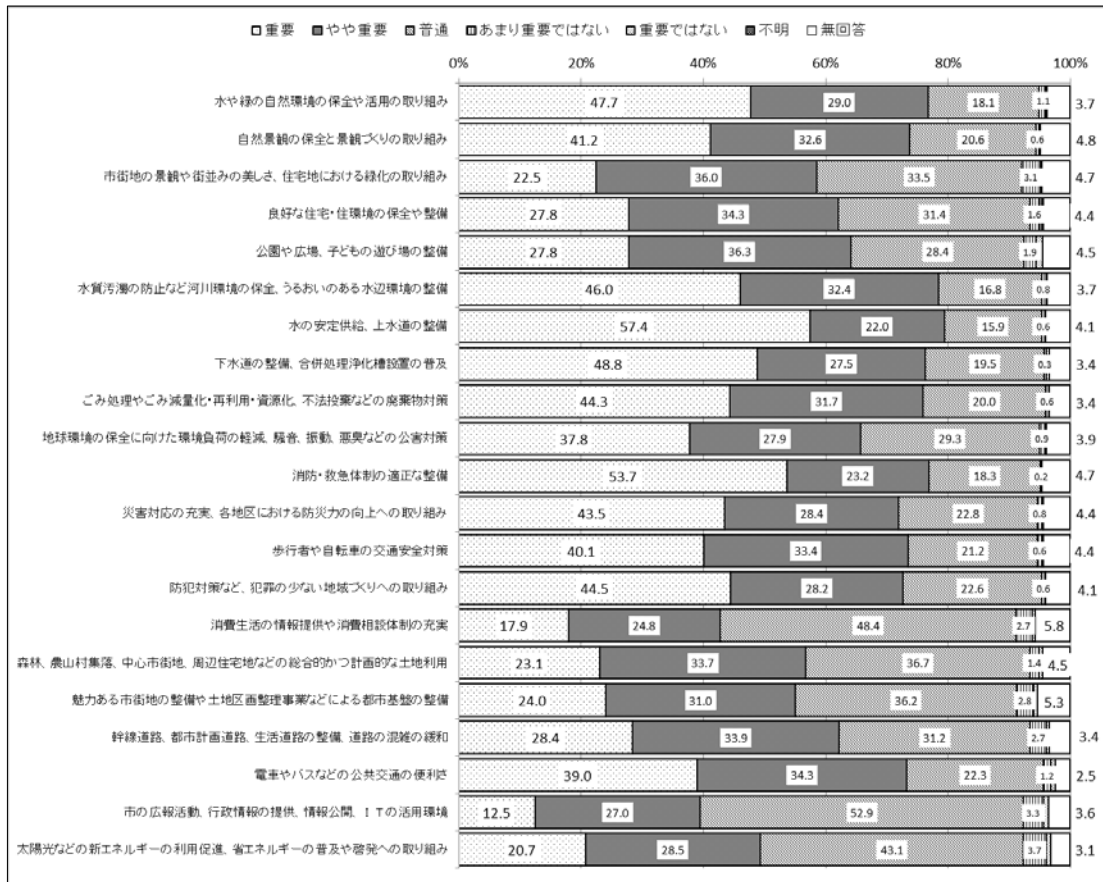
- 満足度が高い：上水道の整備、消防・救急体制の整備
- 不満度が高い：公共交通の利便さ、交通安全対策、公園・遊び場



(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

②重要度

●重要度が高い：消費生活・体制、広報・情報提供以外はいずれも過半数。特に自然環境、上下水道、ごみ処理、消防救急体制の生活の基盤にかかわる項目が高い。



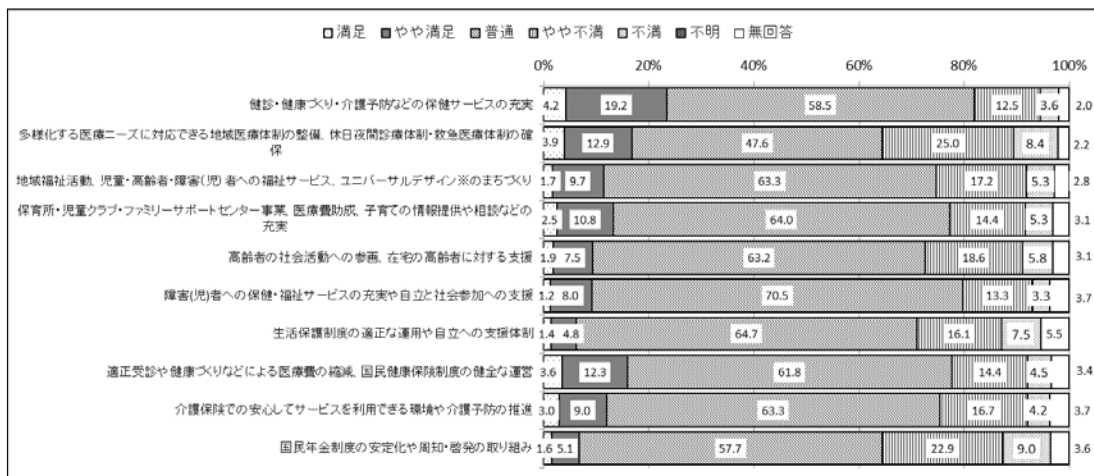
(飯能市市民意識調査・平成27年1月)



2) 「安心して暮らせる福祉と健康のまち」

①満足度

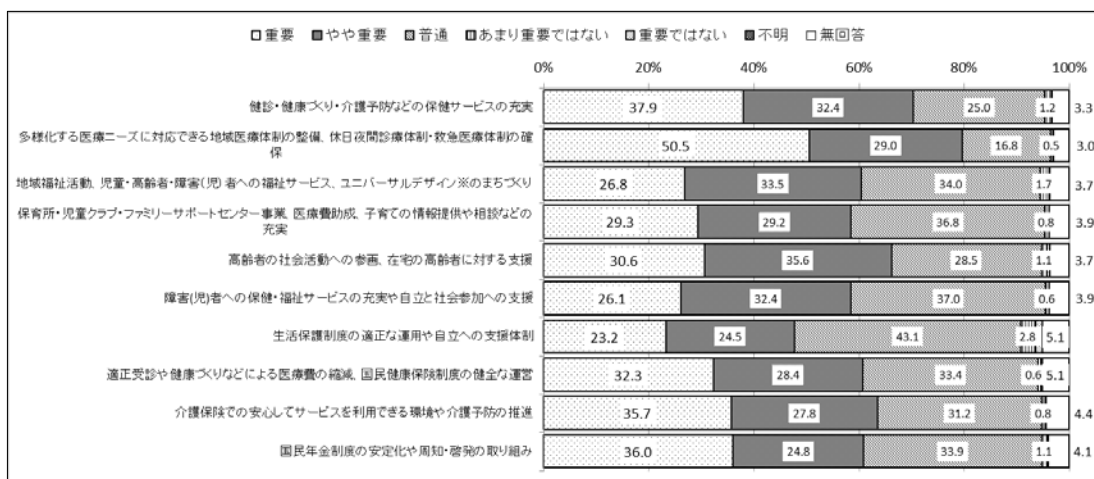
- 不満足が満足度を上回る項目が多く、救急医療体制、国民年金制度の啓発は不満足が高い。
- 満足度が不満足を上回るのは、保健サービスの充実のみ。



(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

②重要度

- 重要度が高い項目が多く、生活保護・自立支援以外はいずれも重要度が過半。
- 特に、救急医療体制(約80%)と保健サービスの充実(約70%)が高い。

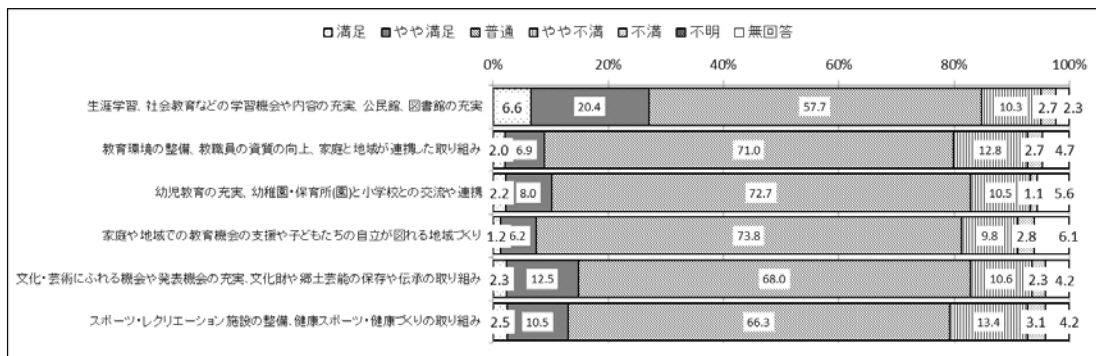


(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

3) 「心豊かで創造性あふれる人と文化が育つまち」

①満足度

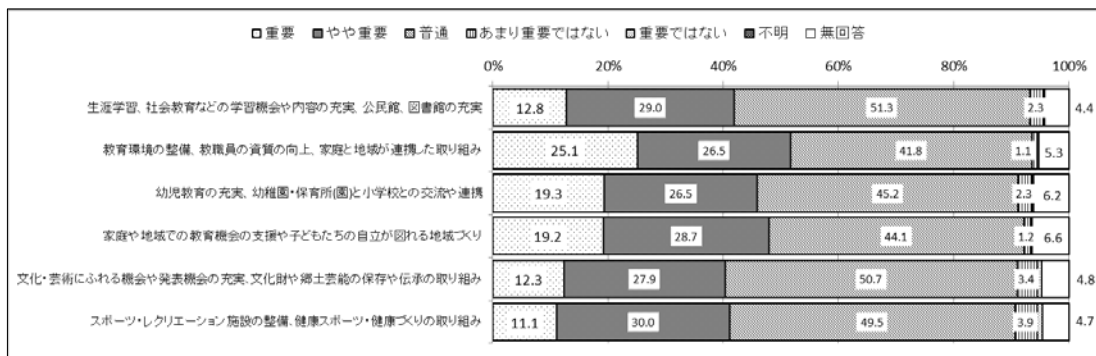
- 満足度が特に高く不満度を上回るのは、生涯学習・公民館・図書館の充実。
- 他の項目では、郷土芸能の保存・伝承以外は、不満度が満足度を上回る。



(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

②重要度

- 重要度が高いのは教育環境・地域と連携した取組、教育機会の支援・子どもの自立が図れる地域づくり。

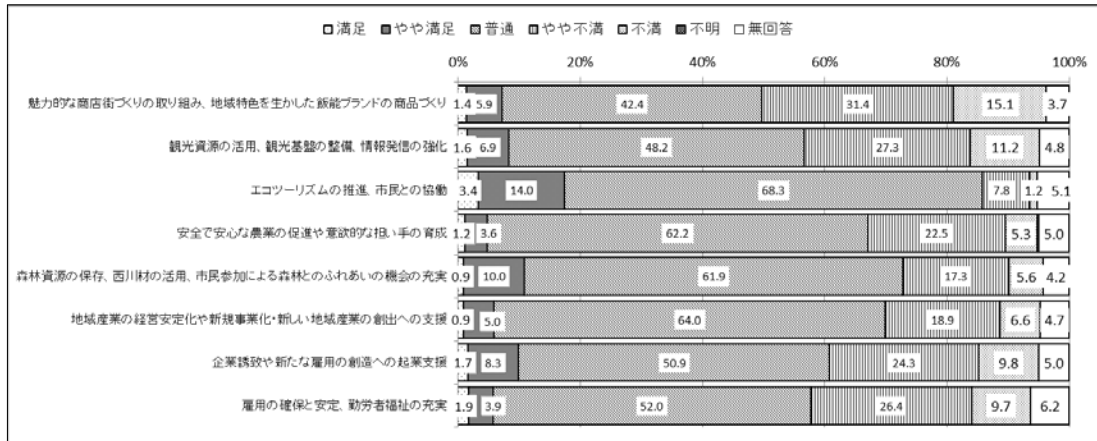


(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

4) 「賑わいと活力を創造するまち」に関する満足度

①満足度

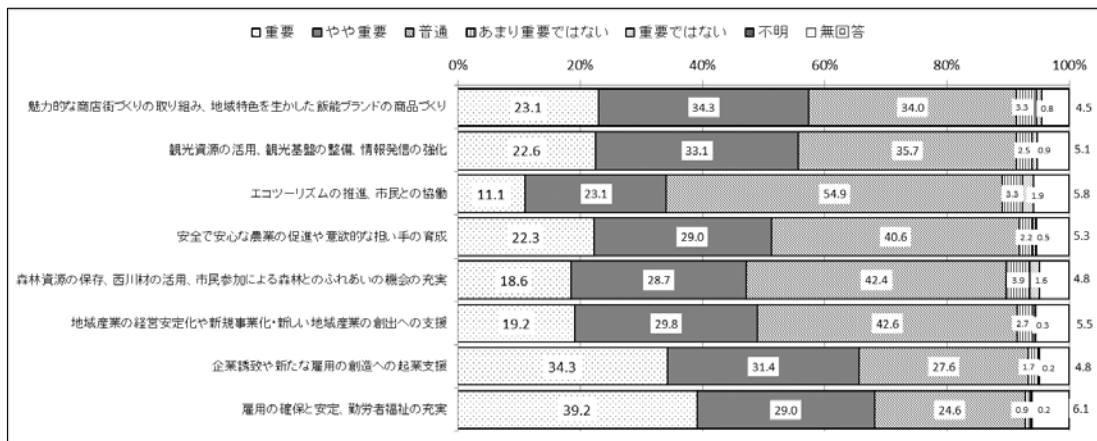
- エコツーリズム・市民との協働は満足度が不満度を上回るが、他の項目は不満度が高い。
- 商店街づくり・ブランド商品づくり、観光、雇用確保・勤労者福祉、企業誘致・起業支援は不満度が高い。



(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

②重要度

- 雇用確保・勤労者福祉、企業誘致・起業支援は重要度が高い。
- エコツーリズム・市民との協働の重要度は低い。

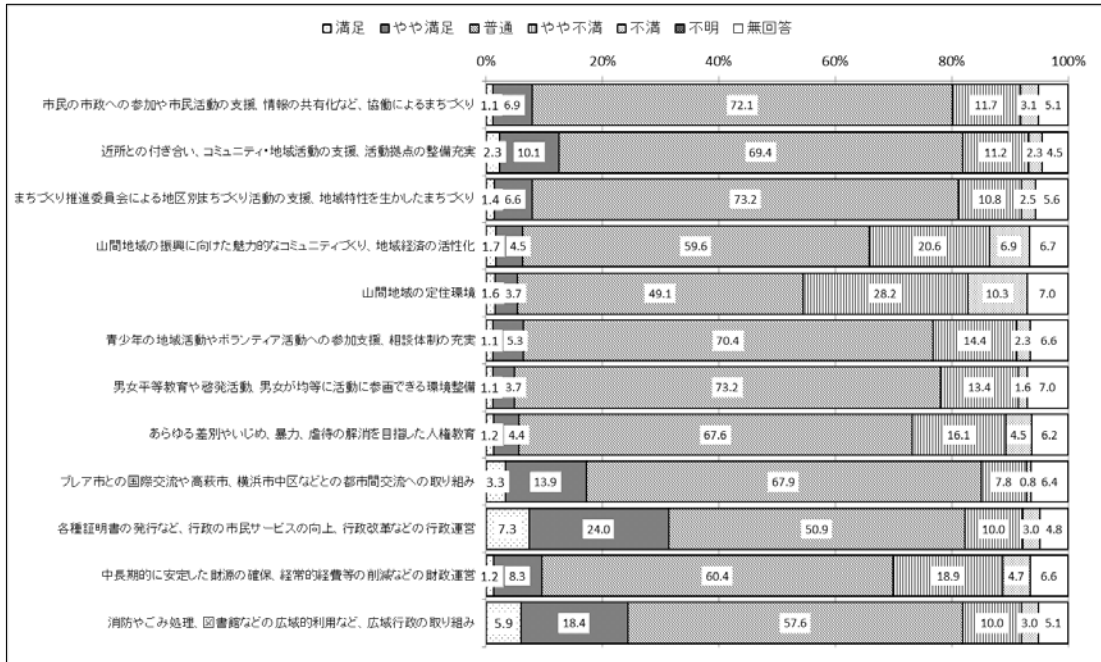


(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

5) 「協働による自主・自立のまち」

①満足度

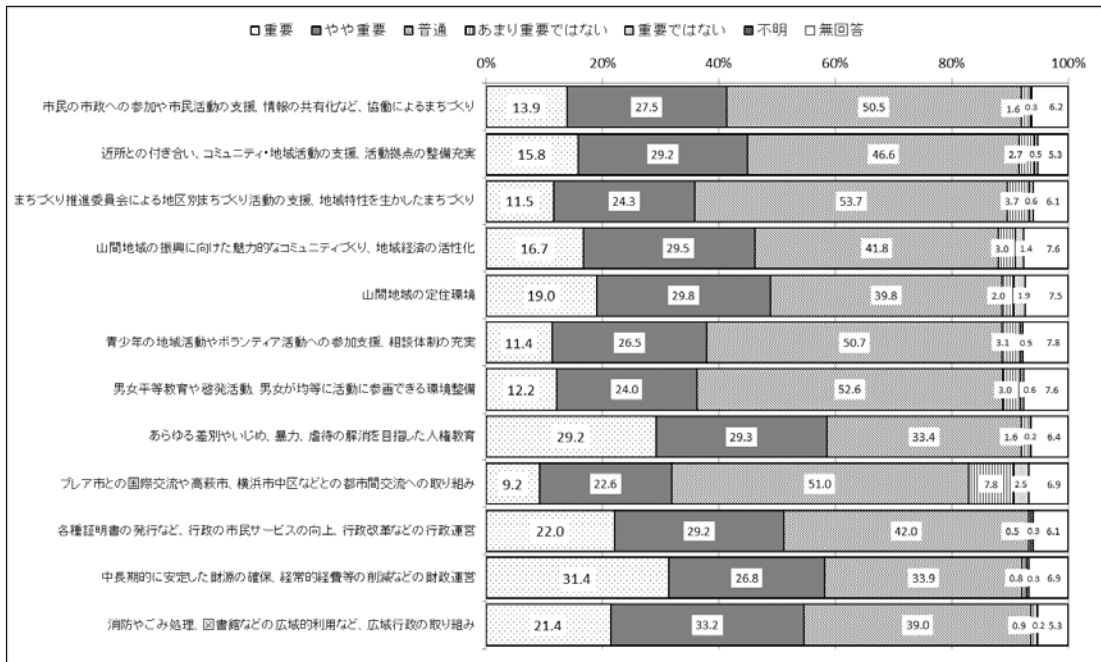
- 不満足度が高いのは、山間地域の定住環境、山間地域のコミュニティづくり・経済活性化。
- 満足度が高いのは、行政運営、広域行政。



(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

②重要度

- 重要度が高いのは、人権教育、財政運営、広域行政。



(飯能市市民意識調査・平成27年1月)

3 まちづくりの課題

飯能市都市計画マスタープランは、上位計画や都市の現況、市民意識などから抽出されるまちづくりや地域づくりにおける課題を整理し、計画に反映します。

【土地利用に係る課題】

- 都市活動の中心となる拠点の形成
- 地区の生活を支える拠点の形成
- 交流促進の場となる拠点の形成
- 都市的土地利用と自然的土地利用のバランスある土地利用の実現
- 中心市街地の活性化を促す基盤整備と商業環境の整備
- 沿道型商業・サービス施設の適正立地の誘導
- ゆとりとうるおいのある居住環境の整備
- 住工混在の解消
- 企業立地の環境整備と企業誘致
- 定住促進や地域の活性化に向けた優良な企業誘致に伴う産業用地の確保
- 良好な自然環境の維持保全と活用

【交通体系に係る課題】

- 圏央道などの高速交通網へのアクセス整備による広域的連携
- 都市の骨格である主要幹線道路の機能強化による周辺都市との連携強化
- 各地区の拠点間を連絡する幹線道路の機能強化
- 鉄道・バスなど持続可能な公共交通ネットワークの形成
- 駅周辺における駐車場の確保
- 市街地内への通過交通の抑制
- 中心市街地と観光拠点を結ぶネットワークの形成
- 中心市街地にふさわしい魅力ある道路空間の創出
- 都市防災に配慮した道路網の整備
- 行楽シーズンの交通渋滞の解消
- 道路の計画的な整備と効率的な維持管理

【水と緑のまちづくりに係る課題】

- 地域固有の自然との調和を目指すまちづくり
- 河川の保全と親水性に配慮した整備
- 平地林、屋敷林の保全と活用
- 都市公園の適切な整備と維持管理
- スポーツ・レクリエーション活動の中心となる空間の整備
- 水と緑の交流拠点とネットワークの形成
- 各地域に分布する観光資源の整備充実

【景観に配慮したまちづくりに係る課題】

- 豊かな自然景観の保全と創出
- 幹線道路沿道の景観の創出
- 市街地、集落地の街並みの創出
- 歴史的・文化的景観の保全と活用
- 河川、水路などの水辺景観の保全と整備

【安心・安全のまちづくりに係る課題】

- 災害に強いまちづくりの推進
- 避難路、避難地のネットワークの形成
- 密集市街地などにおける防災機能の強化
- 公共施設等の維持管理
- 身近な道路の整備や安全な歩行者空間の確保
- 良好な生活環境を形成する下水道の整備
- 洪水などを防ぐ河川の改修、整備
- 防犯に配慮した環境整備
- 高齢者などにやさしいバリアフリーの推進
- 子育てにやさしいまちづくりの推進
- 未給水地域での生活用水の確保